

学術講演会のご案内

—小松市・加賀市・能美市医師会—

謹啓

春暖の候、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、この度、下記日程にて学術講演会を開催する運びとなりました。
ご多忙のところ 大変恐縮ではございますが、是非ともご出席賜りますよう
宜しくお願い申し上げます。

謹白

【日時】 平成27年4月24日(金) 19:30～

【会場】 ルートイングランティア小松エアポート 3階「久谷」

住所: 石川県小松市長崎町4-116-1 TEL: 0761-23-7000

【情報提供】19:30～

選択的SGLT2阻害薬『スーグラ錠』

アステラス製薬株式会社

〈総合司会〉 東野病院 副院長 東野 朗 先生

【特別講演】19:40～

〈座長〉 金沢医科大学 糖尿病・内分泌内科学

講師 金崎 啓造 先生

『糖尿病薬物治療の最新の流れ

～CGM(持続血糖モニター)の知見も含めて～』

東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科

准教授 西村 理明 先生

※この講演会は石川県医師会生涯教育講演会(2単位)に該当します

※この講演会は石川県薬剤師会認定薬剤師研修制度(1単位)に該当します

※この講演会は石川県病院薬剤師会生涯研修認定制度(1単位)に該当します

※この講演会は石川県臨床内科医会(4単位)に該当します

※この講演会はカリキュラムコード(9・23・76)に該当します

共催: 小松市医師会

加賀市医師会

能美市医師会

石川県臨床内科医会

小松市地域医療連携室

小松能美薬剤師会

石川県病院薬剤師会

アステラス製薬株式会社

MSD株式会社

東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科 准教授
ピッツバーグ大学公衆衛生大学院 Adjunct Assistant Professor
西村 理明 先生

糖尿病患者における血糖値は常に変化している。
しかしながら、血糖コントロール指標の代表であるHbA1cは、長期にわたる血糖変動の平均値を反映する指標である。血糖変動を見るために血糖自己測定(SMBG)が頻用されてきたが、1日数回測定した血糖値から血糖変動の全容を推測することは困難であった。

近年、連続して血糖値を測定することができるCGM(Continuous Glucose Monitoring)機器の使用が認可され、血糖変動の全容を見ることが可能となった。本講演では、CGMの知見を含め、新しい糖尿病治療の流れについて触れる。

略歴

1991年3月 東京慈恵会医科大学卒業

1997年3月 東京慈恵会医科大学 臨床系大学院(内科)修了

1998年3月 医学博士 取得

1998年12月 Graduate School of Public Health, University of Pittsburgh修了

(Master of Public Health取得)

2000年4月-2002年3月 富士市立中央病院 内科医長

2000年7月-現在 Adjunct Assistant Professor, Graduate School of Public Health,

University of Pittsburgh

2002年4月-2006年7月 東京慈恵会医科大学・糖尿病・代謝・内分泌内科 助手

2006年8月-2011年3月 同 講師

2011年4月-現在 同 准教授